

教員名	太田 慧	所属学科	地域づくり学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】</p> <p>本ゼミでは、人文地理学の基本的なテーマの理解と地図を活用しながら地域の様々な課題について考えることを目指します。</p> <p>人文地理学に関連する文献を購読し、興味関心のあるテーマを紹介してもらうことで、自身が関心のある人文地理学のテーマについて理解を深めます。さらに、地域の理解のために今後ますます活用が期待される地図やGIS（地理情報システム）による表現技術を学び、地図によるプレゼンテーション能力の向上を目指しましょう。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 2年次：人文地理学の基礎を習得 こちらが指定したテキストまたは学術論文を全員で講読し、毎週1人もしくは2人ずつ文献の内容を紹介します。発表者の発表終了後には、演習の出席者全員で発表内容について議論します。住宅地図、空中写真、あるいはGISを用いて土地利用の変化や解釈について実際に手を動かしながら議論していきます。受講者数によっては受講生との相談の上で日帰りの巡検を行い、地図を作成します。 ■ 3年次：グループ研究 それぞれが関心のあるテーマについて4～5人のグループに分かれて研究します。研究成果は年度末にレポートとしてまとめ、プレゼンテーション大会を行う予定です。 ■ 4年次：個人研究と卒業論文の作成 4年次にはこれまでの大学における研究活動の集大成として、卒業論文を作成します。卒業論文には最低1つ以上の地図を入れて説明してもらいたいと思います。 			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】</p> <p>本ゼミではフィールドワークを実施し、地域を実際にみる目を養うとともに、地図を活用した地域の見方や考え方、プレゼンテーションを学びます。これにより、地域を複眼的にとらえる視点を身に着け、将来的に地域を舞台に活躍できる業界を目指してもらいたいと思います。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ツーリズムの地理学—観光から考える地域の魅力。菊地俊夫編著，二宮出版，2018. ■ 地理学概論（第2版）（地理学基礎シリーズ1）。上野和彦・椿真智子・中村康子（編集），朝倉書店，2015. ■ 東京の自然史。貝塚爽平，講談社学術文庫，2011. 			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</p> <p>地域の課題について考えることは、適切な地域資源の利用や空間配置メカニズムの解明などのより専門的な研究につながります。そのためにはまず、観光地にとどまらず身近な場所にも目を向けて、地域の良さや課題について一緒に考えていきましょう。</p>			